

ニドのモンテッソーリ活動



ボールを押し入れる箱

木の玉を入れる穴の入り口にはスポンジがついており少し押し入れるようにすることによって落ち、箱の下にあいた穴から出てきます。指先で掴み、手のひらで押す力を促します。

ICのモンテッソーリ活動



スタンプ

枠の中にスタンプを押ししていくお仕事です。目と手の協応の発達を促し、力を入れながら丁寧に押していきます。

プライマリー

青バッチが大好きなおしごと

これは「蝶結び」というお仕事です。子どもが目で見分けて、使いやすいように、違う色の紐が付いています。

子どもたちは、時には眉間にしわを寄せ、静かに集中しながら、「玉結びを作り、輪をつかって紐を一周させ、穴に通す作業」に取り組めます。お友だちが出来なくて困っているときは、「こうやってね」と見本を見せてくれたり、どうしてもできない場合は手伝ってあげる姿が見られます。またお仕事の際エプロンを付ける機会があります。そんな時は「自分で出来るから見てて！」と自信満々に言う場面があります。

お家でも蝶結びをすることは少なからずあると思います。もちろんエプロンや、靴ひも、巾着袋・・・、蝶結びに挑戦しようとするのを見かけましたら、ぜひそっと見守ってあげてくださいね。

蝶結び

(日常生活の練習)



紐を一周させ、親指で穴に通しているところ

*保護者の方に“お仕事”をご紹介する目的で作ったページです。「我が子はやっている、やっていない」のチェックに使ったり、「あなたもやりなさい」などは決して言わないで下さい。モンテッソーリ教育では、基本的に子どもたちは、自分でお仕事を選びます。私たちは1人ひとりの“自己選択”の力の育ちを大切にしています。時期が来たら必ず自然と興味を持ちますし、基礎から積んでいくことが大事です。そして、1人ひとり個性がありペースが違います。私たちは、観察を通して適切な誘いかけをしていきます。どうか、子どもたちのモンテッソーリのお部屋をそっと覗かせてもらうようなつもりでお読みください。

ニドのモンテッソーリ活動



ステア

色々な高さの手すりがついた階段です。はいはいやつかまり立ち、歩行を援助し、粗大運動の発達を促します。

ICのモンテッソーリ活動



葉を拭く

濡れたスポンジで葉の表面を拭き取ります。きれいにすることで、植物への興味や親しみを深めていきます。葉を片手で支えながら、ほこりを拭き取る方法を体験します。

プライマリー

赤バッチが根気よく取り組むおしごと

身の回りの物を意識してよく観察すると、生活の中にはいろいろな種類の形があらゆる所にたくさんあふれています。そのたくさんの形を順序立ててきれいに納めているのが「幾何たんす」です。たんすは小さな引き出しが6段で、二等辺三角形など、それぞれ特徴を持つ三角形が6種類ある引き出しや、正五角形から正十角形まで6種類の多角形が揃った引き出し、他にも、大きな円からだんだんと小さくなっていく6種類の大きさの円が入った引き出しなど、子どもたちが引き出しのつまみを持って開ける瞬間は、綺麗に並んだ形を目にして表情が輝きます。感覚教育の活動として、視覚はもとより指先の触覚を洗練していくおしごとで、形の中心にあるつまみを持ち(ここでも三本指による鉛筆の手が自然に作られます)、もう片方の手で形の輪郭を指先で何度も繰り返しながら感覚に訴えていきます。やがてお家の人と一緒に自分の知っている形を見つけると、大きな喜びに満たされる姿が見られることでしょうね。

幾何たんす
(感覚教育)



*保護者の方に“お仕事”をご紹介する目的で作ったページです。「我が子はやっている、やっていない」のチェックに使ったり、「あなたもやりなさい」などは決して言わないで下さい。モンテッソーリ教育では、基本的に子どもたちは、自分でお仕事を選びます。私たちは1人ひとりの“自己選択”の力の育ちを大切にしています。時期が来たら必ず自然と興味を持ちますし、基礎から積んでいくことが大事です。そして、1人ひとり個性がありペースが違います。私たちは、観察を通して適切な誘いかけをしていきます。どうか、子どもたちのモンテッソーリのお部屋をそっと覗かせてもらうようなつもりでお読みください。

ニドのモンテッソーリ活動



トレー付きの箱とボール：

穴の開いた箱の中にボールを入れると、下のトレーに出てきます。大人では計り知れないほどの集中力、ただただ繰り返し！目と手の協応です。

ICのモンテッソーリ活動



シール貼り

シールを台紙に描かれた枠内に貼っていくお仕事です。最初はバラバラに貼っていても次第に枠を意識しながら貼れるようになります。目と手の協応を促します。

プライマリー

黄バッチが感覚を使って楽しむ活動

子どもたちが手で触ったり目で見たりして感覚的な探求をする「幾何立体のかご」という活動があります。青い木製の立体が全部で10個あり、それらが入ったかごにはカバー布がかけられています。

活動では、はじめ子どもたちが普段目にしたことのある、球、立方体、円すいなど3つ位の立体をかごに入れてスタートします。カバー布の下のかごに入っている立体を手で探り、一つずつ取り出し十分触り、いろいろな方向から見て立体の特徴をつかみます。その後、それぞれの立体の名前に触れます。全ての立体を体験した後は、一人が立体の名前を言い、もう一人がかごに手を入れ見つけてとり出すなどのゲームも楽しめます。更に、画用紙や粘土を使って立体を作るといった活動に進みたいという子どもたちには紹介をします。

三角柱を横に倒した立体を見て、ある子どもが「キャンプのテントみたい！」と言っていました。子どもたちは生まれてから今日まで生活の中で目にしたり触ったりしたたくさんの形の中に幾何立体があることに気付きます。それらを整理づけ、これからの創造的な活動へ繋げていく助けとなるのがこのお仕事です。

幾何立体のかご
(感覚教育)



*保護者の方に“お仕事”をご紹介する目的で作ったページです。「我が子はやっている、やっていない」のチェックに使ったり、「あなたもやりなさい」などは決して言わないで下さい。モンテッソーリ教育では、基本的に子どもたちは、自分でお仕事を選びます。私たちは1人ひとりの“自己選択”の力の育ちを大切にしています。時期が来たら必ず自然と興味を持ちますし、基礎から積んでいくことが大事です。そして、1人ひとり個性がありペースが違います。私たちは、観察を通して適切な誘いかけをしていきます。どうか、子どもたちのモンテッソーリのお部屋をそっと覗かせてもらうようなつもりでお読みください。

ニドのモンテッソーリ活動



縦型ボールおとし

目と手の協応の発達を助けます。子どもたちはボールが下まで転がり落ちる姿を、楽しそうに眺めています！

ICのモンテッソーリ活動



植物の水やり

身の回りの植物にじょうろで水をあげます。自立性の発達を援助し、知性・意志・手の動きの統合をもたらします。

プ ラ イ マ リ ー

青バッチが大好きなおしごと

秋になり、青バッチさんが楽しんでいる数のお仕事に「平方と立方の数の鎖」があります。鎖は1～10まで、10色の美しいビーズで出来ていて、「平方の鎖」はある数の2乗分の長さです。例えば5の鎖でしたら水色、25までビーズを1粒ずつ数え、5とびに相当する数の矢印を置きます。数え終わると鎖をたたんで5×5の板(平方の板)と同じになることを確かめます。

「立方の鎖」はある数の3乗分の長さ。平方と同様にビーズを数え、125まで5ごとに5・10・15…と矢印を置いて行きます。

このお仕事は時計(分)を読む時や、計算の準備にもなりますが、何より子どもはモノの数を数える事が大好きですので、夢中になる姿が見られます。

また10色の鎖の中から1色を選び準備し、専用の棚に片付ける時にも、見比べ、眺め、手で触れながら感覚的に数の魅力を感じ取っているようです。

平方と立方の数の鎖
(数教育)



*保護者の方に“お仕事”をご紹介する目的で作ったページです。「我が子はやっている、やっていない」のチェックに使ったり、「あなたもやりなさい」などは決して言わないで下さい。モンテッソーリ教育では、基本的に子どもたちは、自分でお仕事を選びます。私たちは1人ひとりの“自己選択”の力の育ちを大切にしています。時期が来たら必ず自然と興味を持ちますし、基礎から積んでいくことが大事です。そして、1人ひとり個性がありペースが違います。私たちは、観察を通して適切な誘いかけをしていきます。どうか、子どもたちのモンテッソーリのお部屋をそっと覗かせてもらうようなつもりでお読みください。

ニドのモンテッソーリ活動



半開きの箱

開けると、何が入っているかな？開けたり閉めたり、3本指でつまみ、違う手の動きを体験します。

ICのモンテッソーリ活動



のり貼り

円や四角などの色紙に筆でのりを塗り、同じ形が描かれた台紙の枠に合わせて貼る活動です。目と手の協応や指先の細かい運動の発達を促します。

プライマリー

赤バッチが打ち込むおしごと

モンテッソーリ活動の「日常生活の練習」は、子どもたちが日々の生活に適應するために行う様々な活動を「ひとりでできる」ようになる援助をします。それはニドやICで始まります。まずは衣服の着脱や手を洗うといった自分自身の身の回りのことを自立して行うことができるようになる活動です。そして徐々に周りの環境に対して働きかけたいという子どもの興味・関心に応じて、床を掃く、水を注ぐ、洗濯をする、などの活動に広がります。今回は「スポンジを使う」というお仕事を紹介します。ピッチャーからたらいに水を注ぎ、スポンジを浸して絞り、そのスポンジを使ってテーブルを綺麗にします。練習のため色水などでテーブルを汚し、スポンジで一方向に真直ぐ拭き取り、その後乾いた台拭きでくるくるとテーブルを拭きあげます。使い終わった道具を拭いて片付け、次に使うお友達のためにスポンジ等を新しく取り替えてセットします。自分の働きが周りの人のためになることで喜びを感じ、自己肯定感に繋がることもとても大切な経験です。ご家庭でも、大人のお手伝いをしたいと子どもたちが求める機会がたくさんあると思いますので、ぜひ一緒に家事などを楽しんでみてください。

スポンジを使う
(日常生活の練習)



*保護者の方に“お仕事”をご紹介する目的で作ったページです。「我が子はやっている、やっていない」のチェックに使ったり、「あなたもやりなさい」などは決して言わないで下さい。モンテッソーリ教育では、基本的に子どもたちは、自分でお仕事を選びます。私たちは1人ひとりの“自己選択”の力の育ちを大切にしています。時期が来たら必ず自然と興味を持ちますし、基礎から積んでいくことが大事です。そして、1人ひとり個性がありペースが違います。私たちは、観察を通して適切な誘いかけをしていきます。どうか、子どもたちのモンテッソーリのお部屋をそっと覗かせてもらうようなつもりでお読みください。

ニドのモンテッソーリ活動



開閉

身近な開け閉めする入れ物があります。目と手の協応を促し指先を使い集中力と自立を養います。

ICのモンテッソーリ活動



靴を磨く

革靴をブラシと小布できれいに磨きます。道具を持って磨くことで、手首を使う練習にもなります。いつか自分の素敵な靴も磨く日が来るのかな・・・♪

プライマリー

黄色バッチが好きなおしごと

これまで「幾何たんす」や「幾何立体のかご」でいろいろな図形に触れてきた黄色バッチさんが、楽しんでいるお仕事に「構成三角形・三角形の箱」があります。正三角形の木箱に入っているのは4色の三角形。

灰色：基本の正三角形① 緑：①の2等分の直角二等辺三角形2枚

黄：①の3等分の鈍角二等辺三角形3枚 赤：①の4等分の正三角形4枚

子どもは最初にバラバラに出した三角形の中から同じ色の三角形を見つけ、重ねて置きます。次に三角形の辺のガイド線を合わせ、正三角形を構成して行きます。出来た正三角形を見比べたり重ねたりして4枚の正三角形が同じであることを確かめます。子どもが自分で繰り返す時は、4色の三角形の鮮やかな色が分類の目安になり、分解・構成することで、正三角形を等分した時の三角形の形を視覚的に捉え理解します。こうした、自分で分かる気付きの瞬間、子どもの表情は「ぴかっ」と光るのです。

構成三角形
(感覚教育)



*保護者の方に“お仕事”をご紹介する目的で作ったページです。「我が子はやっている、やっていない」のチェックに使ったり、「あなたもやりなさい」などは決して言わないで下さい。モンテッソーリ教育では、基本的に子どもたちは、自分でお仕事を選びます。私たちは1人ひとりの“自己選択”の力の育ちを大切にしています。時期が来たら必ず自然と興味を持ちますし、基礎から積んでいくことが大事です。そして、1人ひとり個性がありペースが違います。私たちは、観察を通して適切な誘いかけをしていきます。どうか、子どもたちのモンテッソーリのお部屋をそっと覗かせてもらうようなつもりでお読みください。

ニドのモンテッソーリ活動



立方体と垂直帽

棒と立方体の穴の位置を確認し、立方体を通したり、抜いたりします。手と目の協力を促します。

ICのモンテッソーリ活動



あけうつし(トング)

親指と4本の指でトングを握り、移し変えます。力の加減をコントロールしながら物をはさむことを楽しみ、道具の扱い方を体験します。

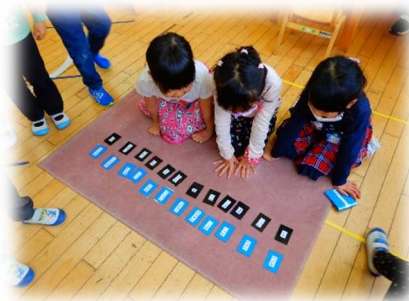
プライマリー

青バッチが大好きなおしごと

今回は「形容詞のゲーム」をご紹介します。物の名前(名詞)が書かれた複数の黒色のカード(例:ごはん、うみ、もんだい等)、そしてその名詞が「どんな」ものかを表す言葉(形容詞)が書かれた同数の青色のカード(例:むずかしい、あおい、おいしい等)を準備します。子ども達はそれらを組み合わせ、「あおい うみ」等の言葉を作ります。この時期、子どもの脳はブローカ野の発達と共に母国語の文法構造を獲得している最中なので、このようなお仕事は子ども達を惹きつけます。

モンテッソーリは言語教育をとっても大切に考えました。鉛筆を持って書くための準備もしますが、何より書きたいことがあることのほうが重要で、自分の考えや意見を持ち、表明できるようになることが人格の形成に大きな助けになると考えました。子どもを援助する私たち大人が意識しなくてはならないのは、豊かな言葉を使って子どもと対話したり本を読んであげたりすること。そして子どもの話をよく聞くという態度です。話を聞いてもらえない子どもは話そうとしなくなってしまいます。子どもが話を始めたら、まずその発する言葉に耳を傾け、じっと最後まで聞いてあげる心の余裕をもつ心がけたいと思います。

「形容詞のゲーム」
(言語教育)



*保護者の方に「お仕事」をご紹介します目的で作ったページです。「我が子はやっている、やっていない」のチェックに使ったり、「あなたもやりなさい」などは決して言わないで下さい。モンテッソーリ教育では、基本的に子どもたちは、自分でお仕事を選びます。私たちは1人ひとりの“自己選択”の力の育ちを大切にしています。時期が来たら必ず自然と興味を持ちますし、基礎から積んでいくことが大事です。そして、1人ひとり個性がありペースが違います。私たちは、観察を通して適切な誘いかけをしていきます。どうか、子どもたちのモンテッソーリのお部屋をそっと覗かせてもらうようなつもりでお読みください。

ニドのモンテッソーリ活動



板おとし

板と立方体の穴の位置を確認、板の向きを調整し穴の中に落とします。目と手の協力を促します。

ICのモンテッソーリ活動



パズル

2～3個のピースのパズルから、形が同じで大きさが変化するものなど、形と輪郭の認識を発達させます。

プライマリー

赤バッチが好きなおしごと

赤バッチさんが楽しんでいるお仕事に「スポンジを使う」があります。

- ① スポイトで、机に色水をたらす
- ② スポンジを絞り、①の色水を吸い取る
- ③ おけの中で色水を含んだスポンジを洗う
- ④ 仕上げにタオルで拭く 手順はこんな感じです。

日常生活の中で、汚れた机を拭く時、大人は「速くキレイに」と考えますが、赤バッチさんの場合は少し異なります。はじめに、①でスポイトの使い方（押して放すと色水が入り、再度押すと色水が出る）事に驚き、机にたらした色水が丸くなる（表面張力）に目を見張り、水滴をしげしげと眺め、何度も色水を落としていきます。次に、③でおけの中に、スポンジを絞った色水が溶けだすと、とても嬉しそう。夢中で繰り返すうちに机はキレイになり、タオルで拭きあげると何とも満足顔です。この活動で子どもは「水」の性質を楽しみながら、手加減を覚え、自身をコントロール出来る様になり、道具の扱い方も上達します。ご家庭でもお食事の時などに、テーブルを拭くお手伝いを頼んでみてはいかがでしょうか。

スポンジを使う
（日常生活の練習）



*保護者の方に“お仕事”をご紹介する目的で作ったページです。「我が子はやっている、やっていない」のチェックに使ったり、「あなたもやりなさい」などは決して言わないで下さい。モンテッソーリ教育では、基本的に子どもたちは、自分でお仕事を選びます。私たちは1人ひとりの“自己選択”の力の育ちを大切にしています。時期が来たら必ず自然と興味を持ちますし、基礎から積んでいくことが大事です。そして、1人ひとり個性がありペースが違います。私たちは、観察を通して適切な誘いかけをしていきます。どうか、子どもたちのモンテッソーリのお部屋をそっと覗かせてもらうようなつもりでお読みください。